

「第2期はちおうじ学園都市ビジョン（素案）」へのご意見の要旨と市の考え方

NO	項目	ご意見の要旨	市の考え方
1	1 ビジョンの全体像（第3章）に関すること	第2期ビジョン全体像は理解でき、八王子市未来ビジョン2040に匹敵し、包含できる。学園都市を表現する（25校コンソーシアム）は大賛成だし、市民へのアピールは重要と思う。テーマ「まるごとキャンパス八王子」について、非常の良いテーマで八王子が学問・学習に溢れる表現である。ただ、「サブテーマ：学生・人材が「集う」まちに」→「学生・市民が「交わう」まち」ではないか。集って、交わることが肝要と思います。	基本理念の「大学等と地域がともに発展するまちづくり」でも、大学等と地域が互いに交わり、支え合うこととしており、「交わる」ことは重要なことであると位置付けております。さらには、共創により新たな価値を創出することを通して、ともに発展するまちづくりの実現をめざし、各施策を推進することとしております。
2	1 ビジョンの全体像（第3章）に関すること	大学コンソーシアムは大いに賛成、産業（企業）のコンソーシアムも必要で、将来的には、大学・産業・自治体の三者連携のプラットフォームが欲しい。	大学コンソーシアム八王子には、現在、経済団体や市内企業が参画されていますが、今後さらに大学等と市内企業連携の充実を図るため、基本施策2「産学公連携支援」では、公民共創プラットフォームへの大学等の参画支援に取り組むこととしております。
3	1 ビジョンの全体像（第3章）に関すること	大学生も多角的な多様な活動が必要である。大学生が自立したり、達成感や自己実現が謳われているが、自治体や企業は、小・中学生など職場体験など社会貢献を行っている。大学生の知識や知恵や地域を知るため、地域貢献の枠組み（しくみ）を作り、小・中学生への交流の場をつくり、縦・横 精通する学生像を作りたい。	地域と大学等との連携や、小・中学校、高校、大学等との連携を推進し、児童・生徒・学生が大学等の特色ある多様な「知」に触れ、交流ができる環境づくりを進めてまいります。
4	1 ビジョンの全体像（第3章）に関すること	第2期はちおうじ学園都市ビジョン（素案）は、好感が持てる。私は、自治会・町会の役員の一部を行っているが、八王子市のビジョンを有効に広められる場（自治会・町会）と考えている。確か第1期も自治会・町会には、特に議論が無かったが、是非とも市からPRが欲しい。広報「はちおうじ」の全戸配布との違いは、町会幹部がそれを呑み込み町会員にアプローチを行う為。大切な情報は、「自治会・町会を巻き込む」により、組織的な動きに拍車をかけたい。八王子市のポジティブな指針づくりに小生も参画したいと思えます。	第2期はちおうじ学園都市ビジョンの策定にあたっては、大学等、学生、企業のほか、市民活動団体、自治会・町会の皆さんからご意見を伺いました。大学等と地域が課題と目標を共有し、ともに考え、解決に向けて主体的に取り組める関係性を築くため、大学等と地域のつながりづくりが重要であると考えています。ビジョン完成の暁には、大学等の関係者だけでなく、市民の皆さんにも広く知っていただけるようPRに取り組んでまいります。

「第2期はちおうじ学園都市ビジョン（素案）」へのご意見の要旨と市の考え方

NO	項目	ご意見の要旨	市の考え方
5	2 基本施策（第4章）に関する事	<p>地域連携支援についての施策への提案をしたい。学園都市としての八王子においては行政の施策については大学の知見を活用していると思う。また大学コンソーシアム八王子の活動はPBL教育の一環として八王子市民に関する貢献をしてきた。小生も過去にはPBL教育に携わり成果を上げたが、コンソーシアムの活動を見ると課題設定については甘く、身近な問題解決やあったら良い等、内容については多くの事業が短期的なものであり、真に大学の知見を利用していない。八王子将来計画についての施策助言に関する提案を求める指針を提示すべきだ。例えば東京都では毎年「大学研究者による事業提案」テーマを決めて募集している。</p>	<p>大学コンソーシアム八王子では現在、今後目指すべき役割や機能などを定める中長期計画の策定に着手しています。その中で、コンソーシアムが目指す地域社会への発展に資する取組についても議論し、取り組んでまいります。</p>
6	4 その他全般に関する事	<p>個人の性格の理系文系にかかわらず哲学に触れる機会を、対象商品の割引・チラシ・CM・標語募集、などといった形で増やしてほしい。なぜなら自分の人生設計を深く考えることで、自己の芯が確立されるから。</p>	<p>学生の皆さんが社会とのつながりを持ちながら自分らしいみちを歩めるよう、一人ひとりに寄り添った支援や情報の提供をしてまいります。</p>
7	4 その他全般に関する事	<p>生活基盤が安定してないと学びを深くできないため、簡単調理法・掃除・睡眠などの生理的知識のようなことが知れる記事やチラシ、ポスターなどを出してほしい。</p>	<p>学生の皆さんが地域社会において安心して生活ができるよう、生活に役立つ情報の発信、啓発活動を実施してまいります。</p>
8	4 その他全般に関する事	<p>本資料において、定住率の低さに「学生が八王子の地に来て学ぶ機会が少なくなった」からであると記載がありますが、飲食などの経験だけでは定住の決定要因にはなりにくいです。在学のために八王子に来ただけの学生は、就職などで転出することは普通ですが、別の自治体での生活を経て、八王子に帰ってくるか否かは、八王子市のイメージが寄与していると考えます。現在、大学進学時を機に一人暮らしをする学生は減少しています。授業のオンライン化によって、遠方からの通学も容易です。一人暮らしをしないという風潮が若い世代で出来始めると払拭することが難しいと思います。こうなると通学が容易な首都圏に学生が吸われてしまい、実際、移転や事業停止を検討しているところが増えています。一人暮らし支援によって、八王子の大学などは学生確保が容易になると思います。</p>	<p>学生の定住促進にあたっては、地域での学びや地域企業との交流を通じて、学生が自身のキャリア形成に有益な体験を得て、将来のライフステージにおいて本市で働くこと、暮らすことに魅力を感じることができるよう、卒業後の市内就職及び定住を促進する取組を推進してまいります。</p>